

第3回病因研究会別府シンポジウム

先生方にはご活躍のこととお喜びもうしあげます。このたび病因研究会を下記の要領で開催いたします。ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。なお、ご参加の際は事前のお申し込みは不要です。

病因研究会事務局(代表) 塩沢 俊一
九州大学病院共同研究部門リウマチ膠原病内科学
〒874-0838 別府市鶴見原4546 電話 0977-27-1656

日時：2017年 3月4日(土) 15:00～19:00
3月5日(日) 9:00～13:30

会場：別府市公会堂(別府市上田の湯町6-37、TEL 0977-22-4118)
(JR別府駅から徒歩7分/亀の井バス「公民館前」下車)

共催：病因研究会、アステラス製薬株式会社
※ 会費 10,000円

～プログラム～

<開会の辞> 坂口 志文(大阪大学)

3月4日(土) 15:00～19:00

- | | |
|--|-----------------|
| 1. マウス肺癌モデルから見た抗PD-1抗体に対する治療抵抗性および獲得耐性 | 小山 正平(大阪大学) |
| 2. SLEにおける核酸受容体の解析 | 村山 豪(順天堂大学) |
| 3. RNAをターゲットにした炎症制御機構と創薬 | 浅原 弘嗣(東京医科歯科大学) |
| 4. ILC2による自己免疫性関節炎の増悪機構 | 廣田 圭司(京都大学) |
| 5. SLEの発症病因：IFN α および <i>ai</i> CD4 T cellの視点から | 塩沢 俊一(九州大学) |
| 6. 異所性MHCクラスII発現によるネオセルフの生成と自己免疫疾患 | 荒瀬 尚(大阪大学) |

***** 情報交換会： ホテル白菊 *****

3月5日(日) 9:00～13:30

- | | |
|---|-----------------|
| 7. 単一細胞解析によって明らかになった強皮症における自己抗原反応性B細胞の役割 | 吉崎 歩(東京大学) |
| 8. 抗原のクロスプレゼンテーションによる全身性エリテマトーデス組織傷害の誘導機構 | 積山 賢(九州大学) |
| 9. 慢性期脳梗塞における抑制性T細胞の役割 | 伊藤 美菜子(慶應義塾大学) |
| 10. ゲートウェイ反射による慢性炎症の調節 | 有馬 康伸(北海道大学) |
| 11. RANKLE Biology | 中島 友紀(東京医科歯科大学) |
| 12. 腸管恒常性維持機構の解析：炎症性腸疾患の病因解明を目指して | 竹田 潔(大阪大学) |

<閉会の辞> 吉村 昭彦(慶應義塾大学)

病因研究会 世話人

塩沢 俊一 九州大学特任教授 リウマチ膠原病内科学共同研究部門(代表)
吉村 昭彦 慶應義塾大学医学部微生物免疫学 教授(代表)
坂口 志文 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特別教授(代表)
熊ノ郷 淳 大阪大学大学院医学系研究科内科学講座呼吸器・免疫アレルギー内科学 教授
三宅 幸子 順天堂大学大学院医学研究科免疫学 教授
村上 正晃 北海道大学遺伝子病制御研究所・大学院医学研究科・分子神経免疫学 教授
佐藤 伸一 東京大学大学院医学系研究科・医学部皮膚科学 教授
田中 廣壽 東京大学医科学研究所附属病院抗体・ワクチンセンター/アレルギー免疫科 教授
安友 康二 徳島大学大学院医歯薬学研究部生体防御医学分野 教授
吉崎 和幸 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻免疫医科学 特任教授